

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年11月7日

上場会社名 株式会社SANKYO 上場取引所 東
 コード番号 6417 URL <https://www.sankyo-fever.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 公久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 大島 洋子 TEL 03-5778-7777 (代)
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	33,493	12.5	3,077	△5.3	3,606	△4.8	2,183	△24.8
2019年3月期第2四半期	29,770	40.3	3,249	—	3,786	—	2,904	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 942百万円(△15.8%) 2019年3月期第2四半期 1,119百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	26.93	25.49
2019年3月期第2四半期	35.79	33.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	311,549	263,940	84.2
2019年3月期	399,585	337,377	84.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 262,357百万円 2019年3月期 336,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
2020年3月期	—	75.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,000	11.8	16,000	△24.8	17,000	△23.8	11,000	△17.8	154.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー 社 (社名) 、 除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期2Q	89,597,500株	2019年3月期	89,597,500株
2020年3月期2Q	28,428,634株	2019年3月期	8,421,994株
2020年3月期2Q	81,066,076株	2019年3月期2Q	81,176,013株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が底堅く推移するとともに、雇用・所得環境も改善が続き、緩やかな回復が続くことが期待されております。一方、諸外国間の通商問題を含めた国際経済の不確実性、国内においては、10月の消費税増税による消費マインドの低下懸念もあり、依然として先行き不透明な状況にあります。

当パチンコ・パチスロ業界では、2018年2月に施行された改正遊技機規則により、現在設置されている旧規則機は2021年1月末までに撤去され、完全に新規規則機に移行することとなります。遊技機メーカーにおいては、遊技金額を抑えつつ多様なゲーム性を有する商品など、改正遊技機規則等に準拠した商品開発を積極的に進め、新規規則機への入替需要の掘り起こしに取り組んでおります。しかしながら、新規規則機の大型タイトル、ヒット商品が出始めているものの、型式試験の適合率の低迷が続いていることから、パラーの購買意欲を高めるまでには至っておらず、パチンコ・パチスロともに新規規則機の導入は低調となっております。

こうした中、遊技機メーカーの組合等の主催により、2019年2月に「みんなのパチンコフェス」、2019年9月には「パチスロサミット2019in秋葉原」が開催され、多くのファンが新規規則機に触れる機会を創出するなど、新規規則機の普及、新規・休眠ファンの獲得に向け、業界が一丸となって取り組んでおります。

当社グループでは、パチンコ6タイトル（リユース機を除く）、パチスロ1タイトルを販売いたしました。第1四半期会計期間ではコアタイトルとなるパチンコ機の発売がなく、売上は低水準となっておりますが、当第2四半期会計期間において、SANKYOブランドの「フィーバー機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」を筆頭に、その他タイトルも販売台数を伸ばし、売上・利益ともに伸ばいたしました。

以上の結果、売上高334億円（前年同四半期比12.5%増）、営業利益30億円（同5.3%減）、経常利益36億円（同4.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益21億円（同24.8%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、売上高272億円（前年同四半期比6.1%増）、営業利益55億円（同22.2%減）、販売台数67千台（前年同四半期は69千台）となりました。

主な販売タイトルは、SANKYOブランドの「フィーバーマクロスΔ（デルタ）」（2019年8月）、「フィーバー機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」（2019年9月）、B i s t yブランドの「鉄拳 極」（2019年8月）であります。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、売上高30億円（前年同四半期比95.6%増）、営業利益7百万円（前年同四半期は12億円の営業損失）、販売台数は7千台（前年同四半期は3千台）となりました。

販売タイトルは、SANKYOブランドの「パチスロ ボンバーパワフルⅢ」（2019年5月）の1タイトルであります。

(補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高28億円（前年同四半期比27.5%増）、営業利益1億円（同84.3%増）となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高3億円（前年同四半期比26.3%増）、営業損失1億円（前年同四半期は2億円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,115億円であり、前連結会計年度末と比べ880億円減少しました。これは主に、現金及び預金が110億円増加となりましたが、有価証券が849億円、受取手形及び売掛金が99億円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は476億円であり、前連結会計年度末と比べ145億円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が45億円、電子記録債務が41億円、未払法人税等が38億円、未払金（流動負債「その他」に含む）が22億円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ734億円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を21億円計上した一方、自己株式の取得685億円、配当金の支払い60億円、その他有価証券評価差額金が12億円減少したことによるものであります。この結果、純資産は2,639億円となり、自己資本比率は0.1ポイント増加し、84.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	104,847	115,858
受取手形及び売掛金	30,627	20,686
有価証券	184,999	99,999
商品及び製品	75	661
仕掛品	118	20
原材料及び貯蔵品	2,682	2,597
その他	8,767	6,469
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	332,115	246,292
固定資産		
有形固定資産	40,440	40,672
無形固定資産		
のれん	45	1
その他	180	153
無形固定資産合計	225	155
投資その他の資産		
投資有価証券	19,233	17,055
その他	7,970	7,773
貸倒引当金	△20	△19
投資損失引当金	△379	△379
投資その他の資産合計	26,803	24,429
固定資産合計	67,470	65,256
資産合計	399,585	311,549
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,246	6,714
電子記録債務	10,042	5,923
1年内償還予定の新株予約権付社債	—	20,016
未払法人税等	4,372	552
賞与引当金	791	950
その他	7,311	4,922
流動負債合計	33,763	39,078
固定負債		
新株予約権付社債	20,026	—
退職給付に係る負債	4,799	4,905
資産除去債務	62	62
その他	3,555	3,563
固定負債合計	28,444	8,530
負債合計	62,208	47,609

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,750	23,750
利益剰余金	330,707	326,802
自己株式	△38,785	△107,328
株主資本合計	330,512	258,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,460	4,224
退職給付に係る調整累計額	73	68
その他の包括利益累計額合計	5,533	4,292
新株予約権	1,331	1,582
純資産合計	337,377	263,940
負債純資産合計	399,585	311,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	29,770	33,493
売上原価	12,529	15,771
売上総利益	17,241	17,722
販売費及び一般管理費	13,992	14,644
営業利益	3,249	3,077
営業外収益		
受取利息	94	94
受取配当金	319	353
その他	129	94
営業外収益合計	542	542
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	11
その他	5	2
営業外費用合計	5	13
経常利益	3,786	3,606
特別利益		
投資有価証券売却益	—	66
特別利益合計	—	66
特別損失		
固定資産売却損	—	8
固定資産廃棄損	2	34
投資有価証券売却損	—	100
特別損失合計	2	142
税金等調整前四半期純利益	3,784	3,530
法人税、住民税及び事業税	1,116	581
法人税等調整額	△236	765
法人税等合計	879	1,347
四半期純利益	2,904	2,183
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,904	2,183

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,904	2,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,821	△1,235
退職給付に係る調整額	35	△5
その他の包括利益合計	△1,785	△1,240
四半期包括利益	1,119	942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,119	942
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,784	3,530
減価償却費	1,219	1,493
のれん償却額	43	43
株式報酬費用	264	242
引当金の増減額 (△は減少)	140	157
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	147	98
受取利息及び受取配当金	△413	△448
売上債権の増減額 (△は増加)	13,059	9,940
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,067	△403
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,910	△8,600
その他	△1,300	△813
小計	4,968	5,240
利息及び配当金の受取額	361	340
法人税等の支払額	△2,059	△3,983
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,271	1,596
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,550	△5,552
定期預金の払戻による収入	5,549	5,551
有価証券の取得による支出	△38,000	△40,000
有価証券の償還による収入	36,000	40,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,053	△1,293
投資有価証券の売却による収入	—	363
貸付金の回収による収入	11	11
その他	△0	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,042	△953
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2	△2
自己株式の取得による支出	△1	△68,543
配当金の支払額	△6,088	△6,088
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,092	△74,633
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,863	△73,989
現金及び現金同等物の期首残高	274,017	274,295
現金及び現金同等物の四半期末残高	268,154	200,305

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年8月6日開催の取締役会決議に基づき、自己株式20,006,500株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が68,542百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が107,328百万円となっております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,721	1,548	2,218	29,489	281	29,770	—	29,770
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	25,721	1,548	2,218	29,489	281	29,770	—	29,770
セグメント利益 又は損失(△)	7,195	△1,247	81	6,029	△217	5,811	△2,562	3,249

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	27,278	3,029	2,829	33,137	355	33,493	—	33,493
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	27,278	3,029	2,829	33,137	355	33,493	—	33,493
セグメント利益 又は損失(△)	5,594	7	150	5,753	△132	5,620	△2,542	3,077

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、2019年11月7日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき自己株式を消却することを次のとおり決議いたしました。

- | | |
|-----------------|-------------------------------------------|
| (1) 消却を行う理由 | 資本効率の向上及び株主還元の充実を図るため。 |
| (2) 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (3) 消却する株式の総数 | 20,000,000株
(消却前の発行済株式総数に対する割合 22.32%) |
| (4) 消却予定日 | 2019年12月30日 |
| (5) 消却後の発行済株式総数 | 69,597,500株 |